

関係法規等	学校教育目標	期待される児童・生徒像		
○学習指導要領 ○東京都の教育目標及び基本方針 ○東村山市の教育目標及び基本方針	◎考える子ども ○やり抜く子ども ○協力する子ども ○思いやりのある子ども	○自分のよさに気付き伸ばすとともに、友達のよさを認め合う児童 ○自分自身に誇りをもつとともに、学校、地域への誇りをもつ児童 ○自分を信じ、友達、先生を信じ、友達、地域から信頼される児童		
各教科の指導の重点	学校経営方針（学力向上にかかわる要点）	道徳教育の指導の重点		
○学習指導要領の具現化 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・「見方・考え方」を働かせた授業実践 ○基礎的・基本的な事項の徹底 ○個に応じた指導の充実 ○課題解決的な学習の充実 ○教育資源の積極的な活用 ○理数教育の充実 ○学習規律の定着と学び合う集団作り ○生きた英語を身に付け、コミュニケーション能力を伸ばす外国語学習	○考える子ども ・自ら考え、正しく判断し探求心のある子ども 「確かな学力」の育成〈知〉 ○やり抜く子ども ・進んで体をきたえ、ねばり強くやり抜く子ども 「健やかな体」の育成〈体〉 ○協力する子ども ・力をあわせ、みんなのためにつくす子ども 「豊かな心」の育成〈徳〉 ○思いやりのある子ども ・人と自然を大切にすること 「持続可能な社会の担い手」の育成〈和〉	○子供の内面に根ざした道徳性の育成に努める ○「特別の教科 道徳」の時間を要とし、各教科等との連携を図りながら授業の充実に努め、道徳的な実践力を育てる ○いのちとこころを大切にする人権教育に努める ○かけがいのない自他の生命を尊重し、共によりよく生きる児童の育成を図る ・豊かな人間性の育成を図る		
総合的な学習の時間の指導の重点	本校における具体的な学力向上への取組	特別活動の指導の重点		
○各教科等で身に付けた様々な力を生かしながら、課題解決を図りながら学んでいき、自己の生き方を考え、進んで社会にかかわろうとする態度を育成する。 ・プリムラ栽培活動 ・国際理解教育 ・人権、福祉、健康教育 ・安全、環境教育 ・プログラミング教育 ・オリンピック・パラリンピック教育	○学校教育目標を踏まえ、育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、次の取組を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの推進を図る。 ・教科の特性に応じた言語活動の充実と教科横断的な指導の充実 ・課題解決的な学習に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善 ・児童の実態に応じた習熟を図る指導体制の確立や短時間学習を取り入れ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。 ・ユニバーサルデザインの視点で指導法や学習環境を見直し、特別な支援を要する児童への個に応じた指導の充実を図る。 ・地域の人材資源や物的資源を活用し体験的な学習の充実を図る。 ・芝生の校庭を生かした体育的活動、体育科の授業の中で、めあてに向かって主体的・継続的に取り組む教育活動の充実を図る。 ・新教科「eタイム」における、英語で学び英語で伝えるCLIL学習を通して、多様な人々とのコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。（令和元年度～令和4年度 文部科学省研究開発学校指定校）	○活動を通して、心身の調和と個性の伸長を図る ○地域の一員としての自覚および集団の一員としての自覚を深め、協力していこうとする自主的、実践的な態度を養う ○児童相互の協力、協働、助け合い、連帯意識の育成（人とのかわりの重視） ○自尊感情、自信を育む		
キャリア教育の指導の重点		生活指導の重点		
○体験学習や話し合い活動を通して、自分の果たすべき責任について考え、自己実現を目指す態度の育成 ○キャリアパスポートを活用し、学びの振り返りや見通しを重視した体系的・系統的な指導の充実		○自らを高めようとする児童の育成 ○学校のきまり、生活のきまりの徹底 ○生活習慣、規範意識、SNSルール等の定着 ○生活、交通、災害への安全指導 ○教師と児童、児童相互の温かい人間関係の醸成		
本校の授業改善に向けた視点				
教育課程編成上の工夫	ICTを活用した指導方法の工夫	評価の工夫（授業評価含む）	校内における研究や研修の工夫	保護者や地域との連携の工夫
○子供と向き合う時間の確保（職員夕会） ○学校行事の精選及び授業時数の確保 ○基礎・基本の学習内容の定着率向上 ・週3回朝学習における短時間学習充実（国語・算数・eタイム） ○算数科における少人数・習熟度別指導の充実 ○英語でいきいきとコミュニケーションを図ろうとする力、各教科等における質的学力の向上を目指した新教科「eタイム」の実施	○タブレット型端末を活用した授業の実践 ・児童の意見集約・共有 ・プレゼンテーションアプリを活用した発表活動 ・インターネットを活用した調べ学習 ・カメラ、ビデオアプリを活用した視覚的アプローチ ・大型提示モニターを活用した資料提示 ○タブレット型端末を活用した授業実践例の共有 ○ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの推進 ・静岡県川根本町立小学校や秋津・化成小学校、蘇州市の小学校との交流を通じた伝え合い活動の充実	○三つの資質・能力の育成に向けた評価規準の見直しと改善 ○教科や単元の目標に基づき、指導と評価を一体化させた授業を展開する。 ○子供のよさや可能性、進歩の状況の評価 ○ポートフォリオによる評価の実施 ○学習の振り返り等、児童による授業評価を活用し、授業改善に生かしていく。	○教員同士が互いの授業を公開し合い、授業参観を通して授業改善を図り、学校が楽しい子ども、授業をするのが楽しい教師の姿を目指す。 ○低中高ブロックでの授業研究を通し、CLILを用いて世界とつながる力を育てる指導法の検証を行い、指導力向上を目指す。 ○研究発表会での授業公開と講師による講演を通して、CLILを用いた学習についての理解を深める。	○地域の人材や教育資源の有効活用 ○保護者会や個人面談、学校便り等の配布文書、ホームページを通して、学校の教育活動に対する理解と協力を得る。 ○学習の基盤である基本的な生活習慣の定着 ・早寝、早起き、朝ご飯、手洗い、挨拶 ○読み聞かせボランティアの活用 ○図書室環境の整備（図書ボランティア等活用） ○学校評価 ○芝生ボランティア ○地域行事への参加